

キャラクター > 八行 > 2

[キャラクター] プレア・レヴェリー

データ

画像		PROFILE	
	所属		
階級			
主な搭乗機			
登場			
声優			
参考資料		G ジェネレーション P	

内容

マルキオ導師の使者。

マルキオ導師の命を受け、ドレッドノートの受け取りのために働いていた少年で、マルキオ導師は彼のことを「運命の子」と呼んでいる。

地球連邦軍にガンバレルなどの特殊な兵器を扱える者は極わずかであり、軍はその力を欲する為に、クローンを創り補おうとした。

その結果、誕生したのがプレアである。

彼は兵器として生きるのを拒み、その境遇に立ち向かって生きる、勇気ある心優しい少年。

また、プレアは自分と同じように、不幸な宿命を背負って生まれ、人の愛情を知らずに育ったカナードのことを気にかける。

だが、カナードはプレアの生き方を否定し、攻撃してきた。

一度はドレッドノートに搭乗し、カナードを退けるのだが、負けを認めないカナードは、再びプレアに闘いを挑む。

そして、プレアも暴走するカナードを止めるべく、X アストレイを駆りカナードとの決戦に臨むのであった。

激しい闘いの末、カナードの乗るハイペリオンの核エンジンが爆発。

プレアは機体を盾として、カナードを守るも、その直後にプレアの身体に異変が生じる。

それは、プレアは不完全なクローンの為に、寿命が極端に短く、もうじき寿命が尽きようとしていたのである。

そして、プレアはカナードの腕に抱かれ、微笑みながら静かに息を引き取り、カナードの叫びがこだまする。

自分の魂と引き換えに、カナードの魂を救うという、勇気ある者の哀しい最期であった。